

2017年度活動報告書



一般財団法人

カンボジア地雷撤去キャンペーン

Cambodia Mines-remove Campaign

第22次カンボジアスタディーツアー

訪問場所

プノンペンタワー、ツールスレーン収容所、日本大使館、三井物産、CSHD地雷原、CMACバットンバン支部、PRC、支援先の学校3校、プノン山、Little Angel、ベンメリア、地雷博物館、一之瀬泰三の墓、アンコールワット遺跡群



「三井物産株式会社」プノンペン事務所の菊池潤一所長にお話しを伺いました。



PRCにて地雷被害者の現状をヒアリング

在カンボジア日本国大使館に堀之内秀久 大使を訪ねました。



CMACバットンバン支部を訪問



Little Angelにて影絵作成を体験

地雷原での教育支援

・CMCコーントライ夢中学校

(2008年落成/協力：佐世保青年会議所)



アンコールワットに
修学旅行



卒業証書授与

卒業生に対し佐世保JCのOBの方々から、アンコールワット卒業式ツアーを開催していただきました。

みんなで行く初めての旅行は大変盛り上がり、バスの中でも大はしゃぎでした。

セルフィーばかりかと思えば、しっかりノートをとっている子もいました。

この経験がただ楽しいだけの旅行にはならないと信じています。

・CMCポップイ三好小学校 (2017年落成/協力：三好不動産)



歯磨き指導



新校舎での授業

11月4日の落成式以降、授業が新校舎で開始しました。最初はみんな、緊張した表情で授業を受けています。

歯磨き指導も行われ、歯がいかにかに身体への健康を助けているかを少しでも理解してくれたと信じています。

・CMCトゥールポンローみおつくし中学校

(210年落成/協力：大阪西ワイズメンズクラブ 株式会社データマックス)



卒業証書授与



卒業式にて

10月30日に卒業式が行われ、35名が出席いたしました。

児玉直代表取締役社長の名代として道山憲一氏が挨拶を行い、その後一人ひとりに卒業証書と記念品および金一封が手渡された。

みんな、卒業式に相応しい身だしなみで礼儀正しく、とても感動的でした。

ラジオ放送「ボイスオブハート」

地雷被害者の心のケアをめざし、2005年にスタートさせたラジオ番組「ボイス・オブ・ハート」。2017年度は、12月24日～2018年2月25日まで計10回放送しました。昨年度のリスナーの被害者から出演依頼もあり、充実した番組制作に取り組む事が出来ました。そして、新たにコンポンチュナン州においても放送を開始したため、新しいリスナーが増えた事を実感しました。

ラジオスポンサー

- ・ 個別指導塾スタンダード
- ・ 新日本製薬
- ・ ニッポンインシュア株式会社
- ・ 善隣教
- ・ 株式会社電子商事
- ・ トクスイコーポレーション
- ・ 株式会社三好不動産
- ・ CMCオフィス株式会社
- ・ カンプサン株式会社

សំឡេងចេញពីបេះដូង 2017-2018

ការផ្សព្វផ្សាយជាមួយជនពិការភាពយសាគ្រប់ម៉ឺនដល់ស្រីសម្បទានក្នុងសង្គម ប្រសិនបើបងប្អូនជាជនពិការភាពយសាគ្រប់ម៉ឺន ហើយបងប្អូនកំពុងស្វែងរកការងារ អង្គការសម្បទាន (SAORI) មានការងារជូន និងអាចទំនាក់ទំនងមកកាន់ពួកយើង

VOICE OF HEART RADIO ON AIR

ពាក់ដំបូម FM91.1MHZ រៀនពេលវេលាថ្ងៃច័ន្ទ ចាប់ពី ម៉ោង13:00 ដល់ម៉ោង 14:00	មង្គាយទានជម្ងឺ FM96.5MHZ រៀនពេលវេលាថ្ងៃច័ន្ទ ចាប់ពី ម៉ោង19:00 ដល់ម៉ោង 20:00	សៀមរាប FM97.5MHZ រៀនពេលវេលាថ្ងៃច័ន្ទ ចាប់ពី ម៉ោង13:00 ដល់ម៉ោង 14:00	តំបន់ភ្នំព្នំ FM100.7MHZ រៀនពេលវេលាថ្ងៃច័ន្ទ ចាប់ពី ម៉ោង18:00 ដល់ម៉ោង 19:00
---	--	--	--

ឧបត្ថម្ភដោយ:

2017年度のポスター



ポップイ小学校のソナー先生
10年前と比べて村がよくなったことを実感しているそうです。通学時、生徒が事故にあわないか心配していたが、現在は大分よくなったとのことです。



地雷被害者Sovannさん
周辺の被害者の方々を集め、出演依頼をいただきました。

福岡教育大学インターン

期間：8月22日～9月2日 14名参加



現地インターン参加者

- 1日目 ナイトマーケット散策
- 2日目 だるま孤児院ボランティア
- 3日目 だるま孤児院ボランティア
- 4日目 だるま孤児院ボランティア
- 5日目 移動
- 6日目 OFF
- 7日目 地雷被害者インタビュー
- 8日目 現地人学生とディスカッション
- 9日目 ポップイ小学校
- 10日目 OFF
- 11日目 移動 (シェムリアップへ)
- 12日目 アンコールワット見学



小学校での交流



地雷被害者インタビュー



現地人学生とディスカッション

昨年度のインターンは急きよ決まったこともあり、参加学生はスケジュールを一生懸命にこなしていた印象がありました。

今年度は事前に開催が決まっていたこともあり、積極的に日本文化や教育に関して自発的にプレゼンしていました。

そして、小学校での交流や現地学生との交流では事前にゲームなどを用意してインターン生主導でプログラムを進めていました。

スケジュールが1日増えたことで、調整がとても大変でしたがやりがいのあるインターンとなりました。そして、インターン生が帰国後に新たな国へ挑戦しに行くなど報告していただけたました。

カンボジアで学んだことを次へ生かそうとしていただけるとうれしく思います。



日本文化のプレゼン

CMCポップイ三好小学校建設

老朽化していたポップイ村の小学校でしたが、今年度より新校舎ができました。工事期間は4月1日から9月31日まででした。校舎の老朽化が原因で雨や風の強い日には授業できませんでした。建設後はうれしいことに、授業がまともに行われるだけでなく、村の集会にも積極的に使われるようになりました。村としての一体感が出てきたことも新校舎のおかげです。



落成式にて

2017年11月3日、落成式が行われました。大谷理事長をはじめ、三好不動産、ニッポンインシュア株式会社など資金面で協力された皆様が参加されました。

印象的だったのは、学校の中をご覧になった際、「予想以上に良い出来」とおっしゃっていただきました。

工事がうまくいくか、校舎に納得していただけるか不安でしたが、とてもうれしかったです。

三好修代表取締役社長より、新校舎での子供たちの教育が継続され、立派な人材に育ててほしい旨の期待も述べられました。

新校舎になり、雨や風の強い日でも授業を行えるようになりました。学習意欲も向上し生徒の出席率はほぼ100%になりました。

それだけではなく、生徒が教室に入る際は靴を脱いだり、授業前には掃除をする、ごみ箱を設置してごみを外に捨てないなど意識改革が起こりました。

日本では当たり前のことですが、この村にとってはとても素晴らしい進歩です。他には、この村で集会が多く行われるようになりました。学校という集まる場所ができたため、人々が集うようになりました。

こういつたつながりが農業でも活かされると、村の発展に寄与すると考えられます。



バタンバン州副知事より感謝状の贈呈

建設風景



旧校舎解体



基盤強化



柱の強化



煉瓦で外壁を建てる



煉瓦をセメントで覆う



屋根の土台完成



瓦屋根完成



外壁塗装完成



内装と黒板



机といすの設置



作業風景、内装



作業風景、セメントで覆う

養豚プロジェクト

2017年5月～

「世界の人々のためのJICA基金活用事業」で「カンボジアにおける稲作に向かない貧困地域での畜産業による収入獲得を目指すためのスキルアップ推進事業」が行われました。対象となったポップイ村は、これまで幾度となく干ばつや洪水被害に見舞われており、主要産業である米の収穫高が上がらなかった。CMCとしても様々な事業を行ってきたが依然として厳しい状況は続いています。

活動の目標

- ① 貧しい村人たちにとってサステナブルな収入獲得手段となること
- ② 貧しい村人たちが協力し合いながら村全体が少しでも豊かになっていくこと
- ③ 当団体が実施するほかの支援活動（学校建設や貯水タンク設置等）と結びつきながら、受益者（ポップイ村の人々）のQOL向上につながることを



村全体でのミーティング



講師によるプレゼンテーション

感想

ミーティングを行うことで、村全体に一体感が出てきたように感じた。もともと個々が各々生活していた村であったが、団結しているように感じる。村長からも「絶対に成功させ、村全体で豊かになりたい」と並々ならぬ意欲を感じることができた。講習には、多くの村人が参加したことから、大変意義のあるものであった。

今年度の目標としては、講習を受けて豚や牛の購入を行うベースのラインができた。来年度以降は、しっかり村が牛や豚を管理させ、プロジェクトを拡大させる責任がある。



2017年度 書き損じハガキ回収キャンペーン ご報告

2017年4月1日～2018年3月31日

【回収結果(2018/3/31時点)】

ご支援者 学校/団体様：**117**

個人様：**674**

ハガキ

3,598,837 円

84,206 枚分

切手

675,749 円

テレカ

242,130 円

854 枚分

総額 **4,516,716 円**

※受取分の総計ではなく、集計した分の合計になります。未開封の分は集計後加算されます

ご支援頂いた皆様誠にありがとうございました。頂いた支援金の寄付先を報告いたします。

【寄付先】(2017年8月スタディツアーにて)

寄付額：220,000 円 (\$2,000) 1\$: 110 円換算

➤ MAG (Mines Advisory Group)

イギリスが運営する NGO で 1989 年より活動を開始し、カンボジアの他約 40 ヶ国以上で活動を展開している。



➤ CSHD (Cambodian Self Help Demining)

寄付額：330,000 円 (\$3,000)

幼い頃、少年兵として戦い自らも地雷を埋めた経験を持つアキラ氏が代表を務める地雷撤去団体。アキラ氏がこれまでに撤去した地雷の数は5万個以上。撤去した地雷などは多くの人に知ってもらう為にカンボジア地雷博物館に展示されている。



支援金は、CMCの現地活動にも役立っています

CMCは現地に事務所を置き、今どのような支援が必要かを考え様々なプロジェクトを実施しています。

ラジオ番組の制作・放送



地雷被害者のメンタルケアを目的とし、被害者の心の声を紹介。被害状況や被害に合わないための注意喚起、就業支援などの情報提供なども行っています。

学校建設



2016年より行っていた学校再建プロジェクトが完了し、CMCポップイ三好小学校として新たなスタートを迎えました。(2017年11月落成)

学校の運営支援



CMC コントライ夢中学校
(2008/9月落成)



CMC トールポンローみおつくし中学校 (2010/12月落成)



CMC ポップイ三好小学校
(2017/11月落成)

講演活動、国際理解授業

2017年度 講演一覧

4月24日 福岡市立西新小学校
6月14日 福岡市立和白丘中学校
6月15日 福岡市立住吉中学校
6月16日 九州国際大学
6月18日 JICA九州
6月19日 福岡市立横手中学校
6月23日 新宮町立新宮東小学校
7月14日 飯塚市立二瀬中学校
8月 2日 能古島青少年育成協会
8月31日 福岡市立香椎第一中学校
9月20日 大連大学

10月10日 粕屋町立粕屋西小学校
10月21日 ニッポンインシュア株式会社
11月21日 福岡中経協
1月19日 福岡教育大学
2月16日 飯塚市立庄内中学校

世界にも目を向ける地球人としての視点を

CMCでは小学校から大学、行政・諸団体等へ、平和・人権・国際協力などに関する講演や授業の講師派遣も行っています。日本ではニュースにならない地雷被害の現状や、地雷模型を使った説明を取り入れた授業を展開します。実際に現地で活動している国際NGOだからこそ、現地の状況や本当に必要な支援とは何かを伝えることができます。また、日本各地にボランティアで関わっているCMCメンバーがおりますので、全国各地で講演を行っています。



福岡市立西新小学校にて講演



福岡市立和白丘中学校にて講演



福岡市立住吉中学校にて講演



JICA九州にて講演



新宮町立新宮東小学校にて講演



中国・大連大学にて講演



飯塚市立庄内中学校にて講演

イベント



10月1日 第1回CMCチャリティソフトボール

第1回CMCチャリティソフトボール大会は6チーム70名の参加で行われ、大盛況のうちに終わりました！参加された皆様、支えてくださった皆様、誠にありがとうございました

【イベント一覧】

- 5月14日
「マルシェinももち文化センター」
- 5月22日
「唐津チャリティフェスティバル」
- 10月1日
「ハートフルフェスタ福岡2017」
- 10月1日
「第1回CMCチャリティソフトボール」
- 10月25日
「春日いきいきフェスタ2017」

【マルシェinももち文化センター】

イベント「マルシェ」にCMCカンボジア地雷撤去キャンペーンとして出展しました。CMCグッズ販売やプルタブゲームなどを通してCMCの活動をアピールしました。



【チャリティー野球】

福岡ソフトバンクホークスマーケティング（株）のご協力の下、チケット1枚に付き、500円がCMCへの寄付になるチャリティ試合を実施。



【ハートフルフェスタ福岡2017】

チャリティソフトと同日開催でしたが、ひまわり会の皆さんの協力のもとブース運営を行う事ができました。ご協力有難う御座いました。



決 算 報 告 書

(第 7 期)

自 平成29年 4月 1日
至 平成30年 3月31日

一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン

福岡市早良区西新1-7-10-702

電話：092 - 833 - 7676

貸借対照表

平成30年 3月31日 現在

一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン

(単位： 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	1,670,292	【流動負債】	3,857,894
現金及び預金	1,670,292	未払金	3,627,437
		未払法人税等	71,000
		預り金	159,457
		負債の部合計	3,857,894
		正味財産の部	
		【正味財産】	-2,187,602
		剰余金	-2,187,602
		その他剰余金	-2,187,602
		繰越剰余金	-2,187,602
		正味財産の部合計	-2,187,602
資産の部合計	1,670,292	負債及び正味財産合計	1,670,292

事業会計収支計算書

自 平成29年 4月 1日
至 平成30年 3月31日

一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン

(単位： 円)

科 目	金 額	
【収入】		
寄 付 金 収 入	11,285,616	
事 業 収 入	10,407,604	
助 成 金 収 入	962,034	
売 上 高 合 計		22,655,254
【原価】		
当 期 仕 入 高	2,846,671	
合 計	2,846,671	
原 価		2,846,671
売 上 総 利 益 金 額		19,808,583
【事業費及び管理費】		
事 業 費 及 び 管 理 費 合 計		19,100,543
営 業 利 益 金 額		708,040
【その他収入】		
受 取 利 息	18	
雑 収 入	240,840	
営 業 外 収 益 合 計		240,858
経 常 利 益 金 額		948,898
税 引 前 当 期 純 利 益 金 額		948,898
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		71,000
当 期 純 利 益 金 額		877,898

事業費及び管理費内訳書

自 平成29年 4月 1日
至 平成30年 3月31日

一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン

(単位： 円)

科 目	金 額
給 料 手 当	5,070,000
雑 給	50,000
法 定 福 利 費	670,066
福 利 厚 生 費	4,810
広 告 宣 伝 費	666,931
接 待 交 際 費	385,161
会 議 費	64,676
旅 費 交 通 費	599,620
通 信 費	556,703
販 売 手 数 料	9,400
消 耗 品 費	63,658
事 務 用 消 耗 品 費	31,050
水 道 光 熱 費	124,991
新 開 函 書 費	3,268
諸 会 費	74,000
支 払 手 数 料	182,508
車 両 費	125,754
地 代 家 賃	999,000
賃 借 料	671,072
リ ー ス 料	845,784
保 険 料	93,410
租 税 公 課	63,750
支 払 報 酬 料	514,900
寄 付 金	68,040
イ ベ ン ト 経 費	58,892
現 地 活 動 費	6,962,135
雑 費	140,964
事業費及び管理費合計	19,100,543

株主資本等変動計算書

自 平成29年 4月 1日
至 平成30年 3月31日

一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン

(単位： 円)

【正味財産】

資 本 金	当期首残高		0
	当期末残高		0
剰 余 金			
その他剰余金			
繰越剰余金	当期首残高		-3,065,500
	当期変動額	当期純利益金額	877,898
	当期末残高		-2,187,602
利益剰余金合計	当期首残高		-3,065,500
	当期変動額		877,898
	当期末残高		-2,187,602
株主資本合計	当期首残高		-3,065,500
	当期変動額		877,898
	当期末残高		-2,187,602
正味財産の部合計	当期首残高		-3,065,500
	当期変動額		877,898
	当期末残高		-2,187,602